

第6章 タイム・トライアル

【解答】

- ① A 商店より商品¥100,000 を購入し、代金は現金で支払った。
(商品) 100,000 (現金) 100,000
- ② B 商店より商品¥50,000 を購入し、代金は小切手を振り出して支払った。
(商品) 50,000 (当座預金) 50,000
- ③ C 商店に対する売掛金¥50,000 を、同店振出しの小切手で受け取った。
(現金) 50,000 (売掛金) 50,000
- ④ 売掛金に対して、現金¥10,000 と郵便為替証書¥5,000 を回収した。
(現金) 15,000 (売掛金) 15,000
- ⑤ 期中に現金勘定を調査したところ、手許現金有高が帳簿残高よりも¥2,000 少なかった。
(現金過不足) 2,000 (現金) 2,000
- ⑥ 後日、⑤の現金不足額¥2,000 のうち、¥1,200 については通信費であったことが明らかになった。
(通信費) 1,200 (現金過不足) 1,200
- ⑦ 決算日になっても、⑤の現金不足額¥800 の原因は不明のままなので、雑損として処理した。
(雑損) 800 (現金過不足) 800
- ⑧ 当社は、D 銀行と当座取引契約を結び、現金¥100,000 を預け入れた。
(当座預金) 100,000 (現金) 100,000
- ⑨ 商品¥50,000 を購入し、小切手を振り出して支払った。なお、当座預金残高は¥40,000 であり、取引銀行とは¥50,000 の当座預金契約を結んでいる。
(商品) 50,000 (当座預金) 40,000
(当座借越) 10,000
- ⑩ 後日、⑨の当座借越を返済するために、当座預金に現金¥70,000 を預け入れた。
(当座借越) 10,000 (現金) 70,000
(当座預金) 60,000

ズーム・アップ

A) 転記

現 金		当座預金	
前期繰越 300,000	①商品 100,000	⑧現金 100,000	②商品 50,000
③売掛金 50,000	⑤現金過不足 2,000	⑩現金 60,000	⑨商品 40,000
④売掛金 15,000	⑧当座預金 100,000		
	⑩諸口 70,000		

商 品		売掛金	
①現金 100,000		前期繰越 100,000	③現金 50,000
②当座預金 50,000			④現金 15,000
⑨諸口 50,000			

現金過不足		雑 損	
⑤現金 2,000	⑥通信費 1,200	⑦現金過不足 800	
	⑦雑損 800		

当座借越		通信費	
⑩現金 10,000	⑨商品 10,000	⑥現金過不足 1,200	

B) 精算表作成

(i) 現金勘定、現金過不足勘定、当座預金勘定の貸借差額が、残高試算表欄に記載されます。

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借 方	貸 方	借 方	貸方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	93,000							
現金過不足	800							
当 座 預 金	70,000							
雑 損								

(ii) 修正記入欄に⑦の仕訳を記入します。

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借 方	貸 方	借 方	貸方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	93,000							
現金過不足	800			800				
当 座 預 金	70,000							
雑 損			800					

(iii) 残高試算表欄の金額に修正記入欄の修正金額を加味し、最終的に B/S 欄に移動させます。

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借 方	貸 方	借 方	貸方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	93,000						93,000	
現金過不足	800			800				
当 座 預 金	70,000						70,000	
雑 損			800					

(iv) 修正記入欄の雑損は、そのまま P/L 欄に移動です。

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借 方	貸 方	借 方	貸方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	93,000						93,000	
現金過不足	800			800				
当 座 預 金	70,000						70,000	
雑 損			800		800			